

# 平成 29 年度「題Ⅱ期教員免許状更新講習」 「高め合う集団づくりをめざす体験活動の指導」

1 回目 平成 29 年 8 月 3 日 (木) ~ 4 日 (金)

2 回目 平成 29 年 12 月 23 日 (土) ~ 24 日 (日)

【目的】 学校の教育活動に体験活動を取り入れることの意味を理解し、体験活動を指導する上での指導方法や安全管理について実習をして学び、学級経営や生徒指導に活かす。

【参加者】 第 1 回 40 名 (幼稚園 1 名, 小学校 15 名, 中学校 1 名, 高等学校 8 名, 教育委員会 1 名)

### 【講師】

兼重 彰洋 (山口県教育庁義務教育課 教育調整監)

鈴木 邦治 (福岡教育大学 教授)

小林 真一 (国立山口徳地青少年自然の家 所長)

中村 慶治 (国立山口徳地青少年自然の家 次長) ※体験活動指導補助:宮崎 和善 (主任企画指導専門職), 片山 伸二 (企画指導班)

### 【1 日目の内容】

8:50 開講式

9:00 (1) 実習「学級開きや仲間づくりに活用できる体験活動の指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職

10:00 (2) 講義「教育の現状と課題」

講師: 山口県教育庁義務教育課 教育調整監 兼重彰洋

13:00 (3) 実習「グループで話し合っ課題を解決する体験活動の指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職

15:10 (4) 講義・実習「野外活動における安全管理と野外炊事の技術」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林真一

企画指導専門職

20:00 (5) 講義・実習「体験活動における振り返りの指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職

### 【2 日目の内容】

8:30 (6) 講義・実習「体験活動の指導方法の考え方と技術」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村慶治

10:00 (7) 講義「体験活動の意義と教育課程への位置づけ」

第 1 回 講師: 国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林真一

第 2 回 講師: 福岡教育大学 教授 鈴木邦治

13:00 (8) 実習「グループワークの指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村慶治

主任企画指導専門職 宮崎和善

17:00 履修認定試験

18:00 閉講式



【実習 仲間づくりに活用できる指導】



【講義 教育の現状と課題  
地域の中での体験活動事例】



【講義から実習へ 野外活動における安全管理と野外炊事の技術】



【実習 グループで話し合っ課題を解決する体験活動の指導】



【実習 2 日間で集団の高まりを実感 振り返り, グループワークの指導】



### 【参加者の声】

『体験学習を通して集団の中で学んだことを、「ふりかえり」活動で言語化することは、意識が強化され、次のステップにつながることを体感できた。』『体験学習の効果をあげるためには意図的・計画的にすることが大切で、準備をしっかりして「カリキュラムマネジメント」を進めていきたい。』『今回、グループワークの実習を受け、集団の力を実感した。2 学期の学級活動に生かしていく。』『活動し、「ふりかえり」を繰り返しながら集団の意識を高めていく「ピーニング」は非常に有効な活動であると感じ、実施してみたいと考えています。』

### 【成果】

多忙な先生方のニーズに合致するよう、選択講習18時間を一泊二日の日程で実施しました。また、講習を体験活動の指導実践に関わる内容とし、実習と講義を関連させたことにより、わかりやすいと好評を得ました。

### 【課題】

受講者である先生方のニーズと本講習の内容が合致しているかを、今回の講習アンケートから分析し、先生方にとってより魅力のある講習会となるよう第二回目の内容を検討していきます。

### 【今後の展望】

体験学習を実践している国立山口徳地・自然体験・宿泊体験徳地でしかできない講習会作りを目指す。